

2018年1月26日

多
久
市
多
久
市
教
育
委
員
会
ソ
フ
ト
バ
ン
ク
コ
マ
ー
ス
&
サ
ー
ビ
ス
株
式
有
限
公
司
日
本
マ
イ
ク
ロ
ソ
フ
ト
株
式
有
限
公
司

多 久 市 、 ソ フ ト バ ン ク コ マ ー ス & サ ー ビ ス 、 日 本 マ イ ク ロ ソ フ ト 、 「 児 童 生 徒 の 学 び 方 と 教 職 員 の 働 き 方 改 革 プ ロ ジ ェ ク ト 」 を 開 始

ク
ラ
ウ
ド
ソ
リ
ュ
ー
シ
ョ
ン
に
よ
る
学
校
I
C
T
環
境
の
整
備
と
最
先
端
の
セ
キ
ユ
リ
テ
ィ
対
策
に
よ
り
、
児
童
生
徒
の
学
び
方
と
教
職
員
の
働
き
方
の
改
革
を
、
多
久
市
の
義
務
教
育
学
校
全
3
校
で
推
進

多
久
市
（
市
長
：
横
尾
俊
彦
）
、
多
久
市
教
育
委
員
会
（
教
育
長
：
田
原
優
子
）
、
ソ
フ
ト
バ
ン
ク
コ
マ
ー
ス
&
サ
ー
ビ
ス
株
式
有
限
公
司
（
本
社
：
東
京
都
港
区
、
代
表
取
締
役
社
長
兼
C
E
O
：
溝
口
泰
雄
、
以
下
ソ
フ
ト
バ
ン
ク
C
&
S
）
、
日
本
マ
イ
ク
ロ
ソ
フ
ト
株
式
有
限
公
司
（
本
社
：
東
京
都
港
区
、
代
表
取
締
役
社
長
：
平
野
拓
也
、
以
下
日
本
マ
イ
ク
ロ
ソ
フ
ト
）
の
4
者
は
、
「
新
学
習
指
導
要
領
時
代
の
学
校
の
在
り
方
の
革
新
」
を
目
指
し
て
連
携
し
、
本
日
2018
年
1
月
26
日
（
金
）
よ
り
、
「
児
童
生
徒
の
学
び
方
と
教
職
員
の
働
き
方
改
革
プ
ロ
ジ
ェ
ク
ト
」
を
開
始
し
ま
す
。

【 連 携 の 背 景 と 経 緯 】

多
久
市
は
、
平
成
21
年
度
（
2009
年
度
）
に
佐
賀
県
で
最
初
に
小
中
学
校
の
全
校
普
通
教
室
へ
電
子
黒
板
を
設
置
す
る
な
ど
、
I
C
T
教
育
に
お
い
て
先
進
的
な
取
り
組
み
を
行
っ
て
お
り
、
平
成
28
年
度
（
2016
年
度
）
に
は
、
総
務
省
の
「
先
導
的
教
育
シ
ス
テ
ム
実
証
事
業
」
と
し
て
、
ソ
フ
ト
バ
ン
ク
C
&
S
お
よ
び
日
本
マ
イ
ク
ロ
ソ
フ
ト
と
連
携
し
て
、
多
久
市
立
東
原
座
倉
中
央
校
の
全
5
年
生
を
対
象
に
、
ク
ラ
ウ
ド
ソ
リ
ュ
ー
シ
ョ
ン
の
み
で
運
用
さ
れ
て
い
る
教
育
シ
ス
テ
ム
の
活
用
を
タ
ブ
レ
ッ
ト
端
末
で
行
い
ま
し
た
。
多
久
市
で
は
、
同
実
証
事
業
に
よ
り
そ
の
有
効
性
が
確
認
で
き
た
こ
と
と
、
教
職
員
の
多
忙
化
が
社
会
問
題
と
な
り
、
2017
年
8
月
に
中
央
教
育
審
議
会
が
「
学
校
に
お
け
る
働
き
方
改
革
に
係
る
緊
急
提
言
」
を
公
開
す
る
な
ど
そ
の
解
決
が
急
務
と
な
っ
て
い
る
こ
と
か
ら
、
同
実
証
事
業
を
ベ
ー
ス
に
「
児
童
生
徒
の
学
び
方
と
教
職
員
の
働
き
方
改
革
プ
ロ
ジ
ェ
ク
ト
」
と
題
し
、
ソ
フ
ト
バ
ン
ク
C
&
S
お
よ
び
日
本
マ
イ
ク
ロ
ソ
フ
ト
と
連
携
し
て
、
全
国
で
も
類
を
見
な
い
パ
ブ
リ
ッ
ク
ク
ラ
ウ
ド
を
利
用
し
た
学
校
I
C
T
環
境
の
整
備
、
最
先
端
の
セ
キ
ユ
リ
テ
ィ
対
策
、
併
せ
て
児
童
生
徒
の
学
び
方
と
教
職
員
の
働
き
方
の
改
革
に
取
り
組
ん
で
い
き
ま
す
。
ソ
フ
ト
バ
ン
ク
C
&
S
と
日
本
マ
イ
ク
ロ
ソ
フ
ト
は
、
校
務
・
教
務
ク
ラ
ウ
ド
シ
ス
テ
ム
と
本
プ
ロ
ジ
ェ
ク
ト
推
進
に
あ
た
っ
て
の
技
術
的
な
サ
ポ
ー
ト
や
ア
ド
バ
イ
ス
を
提
供
し
ま
す
。

【 児 童 生 徒 の 学 び 方 改 革 】

多
久
市
で
は
、
児
童
生
徒
が
自
分
で
考
え
、
周
圍
の
考
え
に
耳
を
傾
け
、
答
え
を
導
き
出
し
た
り
、
考
え
が
異
な
る
相
手
に
も
ス
ム
ー
ズ
に
自
分
の
考
え
を
伝
え
た
り
す
る
力
を
身
に
着
け
さ
せ
る
「
学
び
合
い
」
を
、
学
び
方
改
革
に
お
い
て
重
視
し
て
お
り
、
そ
の
実
現
の
た
め
に
は
、
I
C
T
を
利
活
用
し
た
「
協
働
学
習
」<sup>（
注
1
）</sup>
を
よ
り
多
く
の
授
業
で
実
施
す
る
必
要
が
あ
る
と
考
え
て
い
ま
す
。
多
久
市
で
は
、
校
務
・
教
務
ク
ラ
ウ
ド
シ
ス
テ
ム
と
し
て
ソ
フ
ト
バ
ン
ク
C
&
S
の
ク
ラ
ウ
ド
運
用
サ
ー
ビ
ス<sup>（
注
2
）</sup>
な
ら
び
に
マ
イ
ク
ロ
ソ
フ
ト
の
教
育
機
関
向
け
ク
ラ
ウ
ド
サ
ー
ビ
ス
「
M
i
c
r
o
s
o
f
t
3
6
5
E
d
u
c
a
t
i
o
n
」<sup>（
注
3
）</sup>
を
採
用
し
、
市
内
の
義
務
教
育
学
校
全
3
校
（
多
久
市
立
東
原
座
倉
中
央
校
、
多
久
市
立
東
原
座
倉
東
部
校
、
多
久
市
立
東
原
座
倉
西
溪
校
）
に
タ
ブ
レ
ッ
ト
端
末
を
整
備
（
29
年
度
時
点
で
計
190
台
）
、
授
業
の
8
割
の
時
間
で
協
働
学
習
を
実
施
す
る
こ
と
を
目
指
し
ま
す
。

【 教 職 員 の 働 き 方 改 革 】

多
久
市
は
、
同
3
校
の
全
職
員
に
対
し
て
計
190
台
の
W
i
n
d
o
w
s
10
搭
載
P
C
を
整
備
し
、
校
務
・
教
務
ク
ラ
ウ
ド
シ
ス
テ
ム
を
活
用
し
て
、
文
書
の
デ
ジ
タ
ル
化
・
情
報
共
有
に
よ
る
印
刷
文
書
と
そ
の
コ
ス
ト
の
削
減
、
授
業
コ
ン
テ
ン
ツ
の
共
有
、
テ
レ
ワ
ー
ク
の
運
用
開
始
（
2018
年
4
月
予
定
）
な
ど
に
よ
り
、
校
務
の
効
率
化
と
時
間
外
労
働
の
縮
減
を
図
る
こ
と
で
、
教
員
の
働
き
方
改
革
を
推
進
し
ま
す
。

連
携
内
容
と
校
務
・
教
務
ク
ラ
ウ
ド
シ
ス
テ
ム
の
詳
細
は
別
紙
を
ご
参
照
く
だ
さ
い
。

[今後の展開]

本プロジェクトは平成 30 年度末（2019 年 3 月 31 日）まで実施し、期間終了までに本活動および検証で実行した内容を公開します。

注1：学習者が相互に連携しながら、共通の課題や目標の達成を目指す学習形態。小中学校では、グループに分かれて児童生徒がタブレット端末に各自の意見を書き込み、その内容をネットを介して端末の画面上に共有することで、内容を整理しグループとしての意見をまとめ、電子黒板などで発表する授業が広がりつつあります。文部科学省の「学びのイノベーション事業」（<http://jouhouka.mext.go.jp/school/innovation/>）においても、協働学習はICT活用の特長の1つとされています。

注2：マイクロソフトが提供する Microsoft 365 Education や Microsoft Azure などのクラウドサービスを用いて、文部科学省の「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」（http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1397369.htm）に準じたセキュアなクラウド環境サービスを提供します。

注3：Microsoft 365 Educationは、教育機関向けクラウドサービス「Office 365 for Education」、教育機関のニーズに対応する「Windows 10 Education」、端末とユーザーIDを管理する「Enterprise Mobility + Security」を含む、マイクロソフトの教育機関向け統合ソリューションです。詳細はこちら（<https://www.microsoft.com/ja-jp/business/education/tablet/default.aspx>）を参照ください。

- * Microsoft、Windows、Office 365、Microsoft Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- * Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- * その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

[主な連携内容]

1. 多久市教育委員会が行う学び方改革にソフトバンク C&S と日本マイクロソフトが技術的なアドバイスを
行う。
2. 多久市教育委員会が主催する「多久市多忙化対策協議会」に対して、産業界からのアドバイスをソフト
バンク C&S と日本マイクロソフトが行う。
3. 多久市教育委員会が行う「教職員のテレワーク」について、ソフトバンク C&S と日本マイクロソフトが
技術的なアドバイスをを行う。
4. 多久市教育委員会は、校務・教務クラウドシステムを活用した「児童生徒の学び方と教職員の働き方改
革」の検討ワークショップを開き、ソフトバンク C&S と日本マイクロソフトをアドバイザーとして迎え
る。
5. 検討ワークショップにおいて、提案された具体的な活動を定めた実証検証を実行するにあたり、多久市
教育委員会、ソフトバンク C&S と日本マイクロソフトは各々の役割・行動を決定し、必要に応じて調査
などの活動を追加し、参加メンバーを増やし、実行する。
6. 多久市教育委員会、ソフトバンク C&S と日本マイクロソフトは本活動、本検証で実行した内容を、ケー
ススタディとして、活動終了期間までに事例公表する。

[多久市の校務・教務クラウドシステム 全体図]

